

西小物語

【校訓】

- ゆめ・あこがれ (知)
- えがお (徳)
- げんき (体)

諫早市立西諫早小学校
学校だより
令和6年7月2日(火)
文責:原田 秀紀

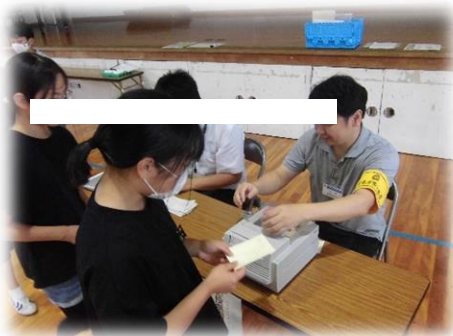


1学期も登校する日が残すところ13日となりました。子供たちは、学習のまとめや1学期に立てた生活目標の達成度を振り返りながら締めくくりがしっかりできるように頑張っています。

先日、6年生が市選挙管理委員会のスタッフの方から模擬選挙の授業を受けました。その授業が終わった後に選挙管理委員の方から次のようなお褒めの言葉をいただきました。

- 説明が終わるまでしっかり話す相手を見て聞くことができていました。
- 模擬投票の時も、自分が投票を終えても自分の席に戻って、みんなが終わるまで静かに待つことができていました。

お互いがその場の雰囲気を読みながら、どのような態度を取ればよいのか理解して実践することは、なかなかできることではありません。しかし、現段階で公共のマナーを実践できる6年生は、大変素晴らしいですね。この姿を「西小っ子のゴールの姿(目標の姿)」に掲げて、規律とマナーを備えた子供たちを育みたいと思います。そして、「ハッピー×3」につなげていきます。



長崎市へ平和学習に行った4年生

先週開催しました「西小っ子の心を見つめる」教育週間には、お足元が悪い中に多くの保護者・御家族・地域の皆様に来校いただき、ありがとうございました。皆様のおかげでうとうしい天候の中でも張り切って学習する子供たちの様子を見ていただくことができたのではないのでしょうか。

教育週間中は、特色ある教育活動として、4年生は長崎市へ平和学習に出かけたり、4～6年生と保護者を対象に「メディアとの上手な付き合い方」等についての講話をしたり、また日頃から子供たちを見守り学校を支えていただいている学校評議員や学校支援会議委員、民生委員の皆様方を招待しての授業参観をしたりしました。各学年で「命」についての学習や貴重な体験学習ができました。子供たちには学んだことを、これからの平和な毎日を築いていくために生かすとともに、まわりの人への感謝の気持ちを育ててほしいと願っています。

【教育週間の目的】

この教育週間は、今から20年前に本県で起きた痛ましい事件をきっかけに、子供一人一人と「命」についての学びを通して自分自身がかけがえのない存在であることや、自分の命は自分だけのものではないこと、みんなが仲良くすることが平和につながっていくことなどを考え、理解し、実践することを目的に設定されました。子供一人一人が豊かな心を身に付け、みんなが笑顔で過ごせる平和な社会が、私たち大人の願いです。そのためにも学校・家庭・地域が協働して、その願いを伝えていく必要があります。



指導員の説明に耳を傾ける5年生

先月21日(金)に西諫早小学校区健全育成会、民生委員の皆様、JAながさき県央営農指導員の方に御協力いただき、校地内にある畑で5年生が総合的な学習の時間に「芋さし」をしました。支援をしてくださる方々のアドバイスを聞きながら、サツマイモの苗に「たくさんできてね!」と願いを込めて一人一人植えていました。米づくりの時と違って、今後世話をするのは自分自身です。収穫の日を楽しみに待ちながら、雑草と格闘の日々です。梅雨の晴れ間の暑い中ご協力をいただきました西諫早小学校区健全育成会や民生委員、JAながさきの皆様、本当にありがとうございました。

地域の力を借りて



読み聞かせで 豊かな心を…

6月19日(水)図書ボランティア「にっこにこ」による今年度第1回目の読み聞かせがありました。すべての子供たちが読み聞かせをしてく



さる方々のお話を吸い込まれて、朝から心にゆとりをもって1日をスタートさせることができました。



図書ボランティア「にっこにこ」の方々

いつの間にか新聞や雑誌、漫画はPC等のモニターで見る時代へと進展してきましたが、今も昔も子供たちは紙芝居などの読み聞かせが大好きです。ぜひ、ご家庭でも読み聞かせの時間をつくって心に栄養を届けてください。



集団下校訓練



6月17日(月)有事に備えて集団下校訓練を行いました。今年度初めての訓練でしたので、少々集合と人員の確認に時間がかかりましたが。慌てず落ち着いて取り組むことができました。まだまだ雨が続

きますので訓練が生きる場面があるかもしれません。その際はご協力をお願いいたします。